

顧問 中田 章道 七段

発行責任者 山中 利夫

## 1 第2回名古屋城こども王位戦決勝大会で藤井聡太七段が指導対局

8月11日(祝・土)、名古屋市の吹上ホールで開催された約900名の予選大会を勝ち抜いた36名による決勝大会が、名古屋城本丸御殿にて行われました。

この大会は昨年度から開催されました。昨年度の申し込みは2000名を大きく超えましたが、会場の都合で予選大会は2回に分けて各300名の計600名しか参加できませんでした。第2回は全ての希望者を受け入れることを優先して会場を選定しましたが、約1100名の申し込みに対して、約900名の参加にとどまりました。これはお盆の直前の山の日の開催のため、参加予定者が家庭の事情などで参加できなくなったのではと受け止めています。



河村たかし名古屋市長も出席され、主催者を代表していつもの河村節で参加者を激励しました。

決勝大会の優勝者9名に藤井聡太七段の指導対局を行いました。藤井七段はこれまで指導対局の経験がないようで少し戸惑いもあったようですが、それでも9クラスの各優勝者にとっては、素晴らしいご褒美だったと思います。

昨年度に続き日本将棋連盟の佐藤康光会長が出席されました。地元棋士では杉本昌隆七段、澤田真吾六段も参加され、それぞれ優勝以外の参加者の指導をいただきました。

この大会は名古屋市及び中日新聞社による名古屋城こども王位戦実行委員会が、継続して開催を予定しています。

	優勝	準優勝	第三位	第四位
中学3年生	宮堂 力旗 (岐阜県養老町)	志田 歩未 (名古屋市南区)	渡辺 康正 (犬山市)	加藤 友真 (浜松市西区)
中学2年生	加藤 慎士 (岐阜県御嵩町)	井口 雅輝 (名古屋市千種区)	山口 稀良莉 (岐阜市)	荒木 開 (一宮市)
中学1年生	三浦 光葵 (小牧市)	舘 知太郎 (富山県黒部市)	中島 鈴行 (伊勢市)	奥山 全夢 (四日市市)
小学6年生	住吉 治志 (多治見市)	宮治 佑賢 (あま市)	八田 勝友 (新城市)	門奈 拓巳 (浜松市東区)
小学5年生	山口 修生 (岐阜市)	野村 權 (名古屋市守山区)	前川 海里 (四日市市)	大西 佑哉 (伊勢市)
小学4年生	炭崎 俊毅 (兵庫県姫路市)	片岡 舜裕 (常滑市)	畑 幸佑 (犬山市)	落合 優朔 (小牧市)
小学3年生	華房 慶大 (名古屋市西区)	大草 歩睦 (名古屋市千種区)	神野 来樹 (関市)	竹下 航平 (名古屋市瑞穂区)

小学2年生	安本 興生 (弥富市)	鈴木 佑一 (浜松市中区)	長野 帆高 (日進市)	市村 嘉規 (名古屋市東区)
小学1年生	石黒 練太郎 (日進市)	田中 哲 (大阪府島本町)	華房 永菜 (名古屋市西区)	木村 瞭佑 (名古屋市千種区)

## 2 将棋フェスティバル2018に約400名が参加

今年も名古屋港湾会館にて将棋フェスティバル2018が開催されました。今年は会場の制約で残念ながら個人戦を取りやめざるを得ませんでした。

しかし、5人制の団体戦には52チームの参加があり、A級14、B級14、C級24に分かれて熱戦を展開しました。

今年の参加棋士は糸谷哲郎八段、山崎隆之八段、中田章道七段、永瀬拓矢七段、安用寺孝功六段、横山泰明六段、及川拓馬六段、都成竜馬五段、室田伊緒女流二段、中澤沙耶女流初段の10名でした。

このうち糸谷哲郎八段及び山崎隆之八段には、サイン色紙付きの指導対局をお願いしましたが、それぞれ2回とも予定枠が埋まる人気ぶりでした。

午後3時過ぎからの公開対局は、永瀬拓矢七段VS糸谷哲郎八段で5分切れたら30秒、山崎隆之八段の解説、聞き手室田伊緒女流二段で白熱した一戦となりました。

結局両者譲らず公開対局では珍しい持将棋の結果となりました。しかし、お二人の熱戦はまさに真剣勝負そのもので、両対局者に会場の参加者からは大きな拍手が送られました。

来年は会場の制約なく全会議室を活用して、個人戦も開催したいと考えています。

	優勝	準優勝	第三位
A級 14チーム	名古屋創龍会支部 水谷 創 田中 景季 瀬見井 伸輔 木村 陸 西村 晃宏	名古屋と金クラブ支部A 谷口 登 吉田 拓海 松田 晃治 高木 伸英 三浦 光葵	春日井支部A 大村 和隆 源川 諒 服部 卓矢 小笠原 保 田中 勇人
B級 14チーム	名古屋支部B 伊覇 逞 華房 慶大 田口 晃士 宮治 佑賢 荒木 開	名古屋と金クラブ支部B 村瀬 善二 伊丹 迪夫 野村 權 井口 雅輝 大草 歩睦	愛知棋匠会支部C 前田 博 八田 勝友 岩上 勇太 若原 達也 安藤 将太
C級 24チーム	名古屋と金クラブ支部F 定藤 正弘 大島 圭一郎 鬼頭 直寛 竹下 航平 清水 太陽	名古屋と金クラブ支部C 平野 浩一郎 今井 圭 近藤 俊介 小島 瑞葵 山田 康雅	名古屋市役所支部 阿知波 敏明 大橋 伸 馬場 豊 秦 誠一郎 柴田 重三

## 3 平成30年度支部長・将棋指導員合同会議に約60名が参加

愛知県支部連合会は、平成7年から2月に総会そして10月に支部長・将棋指導員合同会議を開催しています。平成7年には13支部でしたが現在は35支部になり、将棋指導員も約170名に達する組織に発展し、各地域で子供たちへの将棋の普及を中心に取り組んでいます。今年も藤井七段の活躍に刺激されて、各企業及び自治体からこども将棋大会を含む様々な

イベントの開催の依頼が増加しています。7月～9月の主なものだけでもイオンモール中部エリア大会（常滑）200名、松坂屋名古屋店のこども将棋大会300名、昨年からです名古屋城こども王位戦900名、瀬戸こども将棋大会170名、東郷町いこまい将棋大会180名、ブライムツリー赤池こども将棋大会140名と連続して開催されています。

また、6月及び7月に開催した文部科学大臣杯は、中日新聞社北館で小学生の部と中学生の部に分けて開催しましたが、参加チームがそれぞれ大きく増加して大会運営に支障が出るような状況でした。

これらの取り組みのまとめと来年2月の総会への確認をする目的で開催した支部長・将棋指導員合同会議には約60名の参加があり、公益社団法人日本将棋連盟からは井上慶太常務理事に出席いただきました。井上理事からは9月1日に名古屋港湾会館で開催された西日本豪雨災害支援チャリティーイベントで142万円が集まったお礼、そして日本将棋連盟の中で愛知県支部連合会が果たしている先進的な普及活動について労いの言葉をいただきました。

なお、会議では本年4月に結成された名古屋西南支部（坂野和重支部長）、八事富士見こども将棋教室支部（設楽修一支部長）の紹介とあいさつ、7月に結成され会員が300名になる瀬戸将棋文化振興協会支部（水野和郎支部長）からも今後の活動の抱負が述べられました。

また、会議の後は日頃は大会運営に忙しい皆さんの慰労と交流を兼ねて、役員将棋大会を開催しました。その後は夕方から井上慶太常務理事、中山則男東海普及連合会事務局長を囲んで懇親会を開催し、より一層の将棋の普及を確認しあいました。

## 4 第5回豊橋ふれあい親子ペア将棋大会

第5回豊橋ふれあい親子ペア将棋大会が、8月26日、アイプラザ豊橋で開催されました。

32組の親子ペアが4組ずつA～H、8つのグループに分かれて、午前10時20分から予選リーグを戦い、午後からは各グループ上位2組が決勝トーナメント、下位2組が敗者豊橋市長杯争奪トーナメントで白熱した戦いを繰り広げました。

昨年は36組のペアを受け入れたため、トーナメントを組むのに四苦八苦した経験を踏まえ、東海普及連合会、愛知県支部連合会協力の下、応募組数32が締め切り日の2週間前には埋まり、以後キャンセル待ち5組確保の上、実際、キャンセル3組が出ても対応することができました。

今回参加ペアのうち、豊橋市から13組、豊川市2組、西三河地域4組、名古屋市6組、名古屋以外の尾張地域5組、浜松市1組、伊賀市1組の構成。出場最高齢者は82歳の祖母で、本来はペアを組むべき父親53歳が急遽海外出張になったため、ピンチヒッターで出られた豊橋のペアでした。何とも微笑ましく、将棋を指すことで親子が意志疎通を図り、一体となり、絆を深めている姿が見られました。勝負の結果にこだわらず、精一杯力をつくしてお互いの健闘を称えあい、家族同士が友好を深めながら、明るく楽しむ雰囲気会場内熱気とともにあふれていました。

ペア大会の同じ会場内、別の一画で、杉本昌隆七段による指導対局が行われ、18人が受講し、先生から懇切丁寧なレッスンを受けた生徒さんは、皆、感無量の面持ちでいました。

決勝戦は対戦ペアが壇上正座して足付き将棋盤に向かいあい、直上カメラから映し出さ



れた盤面モニターに杉本七段による大盤解説を加えながら、対局を会場内観客に実況中継する形をとり、まさに公開タイトル戦の臨場感を味わうことができました。

大会、入賞者は以下の通りです。

豊橋ふれあい子ども将棋教室 辻村隆介

	優勝	準優勝	第三位
決勝トーナメント	野村 權・憲二ペア (名古屋市)	山村 健琉・拓也ペア (豊川市)	櫛田 征志・明裕ペア (名古屋市)
敗者トーナメント	加藤 洋己・雅之ペア (豊橋市)	坪井 絆・明子ペア (名古屋市)	中根 由希奈・治男ペア (岡崎市)

## 5 中山六段が愛知県庁支部を訪問

10月13日(土)午後、中山則男六段が愛知県庁支部を訪問されました。

当日は、桜華会館で開催の愛知県庁支部総会を兼ねた将棋大会にお越しいただきました。指導将棋では、13名が中山六段に挑みました。

前回は、上手から勝利することはできませんでしたが(上手の10勝1分け)、今回は、上手の7勝3敗3分けということで、2年ぶりに勝利をあげることができました。

勝利者の中には、昨年、惜敗した経緯を踏まえ、粘り強く指すことにより、勝利することができた下手もありました。

また、中には、上手玉を追い詰めた対局もありましたが、即詰みを発見することができず、無念の投了となった下手もありました。下手が勝利するためには、ある程度の定跡研究と、攻めを手厚くして指すということが必要と感じました。



愛知県庁支部 小林壮行

## 6 第35期アマチュア王将戦東海地区大会

10月20日(土)、名古屋港湾会館にて、第35期アマチュア王将戦東海地区大会が開催され、稲葉聡さんが代表の座を獲得しました。稲葉さんは、アマ竜王戦、アマ名人戦、朝日アマ名人戦に続いての優勝です。A~D級では小中学生の活躍が目立ちました。

	優勝	準優勝	第三位
アマ王将戦 79名	稲葉 聡 (名古屋市守山区)	上田 洋 (京都市)	井上 輝彦 (瀬戸市) 浅倉 孝幸 (茨城県)
A級 26名	加藤 慎士 (岐阜市・13歳)	都築 望 (知多市)	田口 晃士 (名古屋市緑区・14歳)
B級 12名	佐々 奏太 (名古屋市北区・10歳)	石井 優杜 (名古屋市名東区・13歳)	竹下 航平 (名古屋市瑞穂区・9歳)
C級 13名	服部 直毅 (名古屋市昭和区・7歳)	伊藤 小太朗 (江南市・16歳)	山森 隆雅 (江南市・15歳)
D級 7名	鬼頭 潤也 (名古屋市名東区・8歳)	本多 宏成 (名古屋市昭和区・7歳)	冬木 正陽 (名古屋市西区・10歳)

## 7 将棋日本シリーズ東海大会

10月21日(日)、ポートメッセなごやにて、将棋日本シリーズ東海大会JTプロ公式戦／テーブルマークこども大会が開催されました。

JTプロ公式戦は、渡辺明棋王が羽生善治竜王に勝利して決勝進出を決めました。

テーブルマークこども大会は1,844名もの参加があり、結果は次のとおりとなりました。

	優勝	準優勝
高学年 874名	野村 權 (名古屋市・森孝西小5)	前川 海里 (四日市市・楠小5)
低学年 970名	華房 慶大 (名古屋市・なごや小3)	大草 歩睦 (名古屋市・自由ヶ丘小3)

## 8 東海テレビ感謝祭こどもニコニコ将棋大会

10月27日(土)、28日(日)の両日、久屋大通公園にて、東海テレビ感謝祭こどもニコニコ将棋大会が開催され、合計23名が参加しました。結果は次のとおりです。

	優勝	準優勝	第三位
27日 8名	杉本 京介 (名古屋市・筒井小3)	有馬 尚輝 (長久手市・東小5)	豊田 悠奈 (名古屋市・豊治小5)
28日 15名	丹羽 楓吾 (愛西市・佐屋小6)	櫛田 征志 (名古屋市・なごや小3)	伊藤 侑輝 (豊田市・衣丘小2)

## 9 室田伊緒のかすがい子ども将棋大会

10月20日(土)、春日井市本庁舎にて室田伊緒のかすがい子ども将棋大会が開催され、41名が参加しました。また、40名が室田伊緒女流二段、中村亮介六段、村田顕弘六段の指導を受けました。

	優勝	準優勝	第三位
上級 4名	山田 晃雅 (春日井市・出川小6)	冨田 文希 (多治見市・多治見小1)	根津 智成 (春日井市・不二小4)
中級 13名	政岡 優 (稲沢市・下津小3)	山田 康雅 (日進市・日進西小4)	小田 彰吾 (東海市・渡内小5)
初級 24名	福井 陸斗 (春日井市・上条小4)	豊田 一心 (尾張旭市・城山小2)	濱口 竣太 (春日井市・勝川小2)

## 10 和丘祭縁台将棋大会

- (1) と き 平成30年11月11日(日) AM9:15～9:50受付 AM10:00～PM16:00
- (2) と ころ 愛知東邦大学L棟4階
- (3) ク ラ ス ①有段者・一般の部、②高学年の部(5年～中学生)、③低学年の部(4年生以下)、④初級の部(棋歴1年・4年生以下又は13級以下)
- (4) 参 加 費 1,000円
- (5) 表 彰 メダル(金・銀・銅)・賞状・賞品
- (6) 主 催 と金クラブ将棋教室
- (7) 協 賛 梅森子供将棋教室 名将塾 長久手将棋教室

## 11 さなる杯第44回小学生将棋名人戦愛知県大会地区大会

- (1) と き 平成30年12月9日(日) AM9:00～受付 AM10:00対局開始

- (2) ところ 豊橋会場 さなる豊橋本部校  
豊橋市駅前大通3-50-2 電話0532-55-0110  
岡崎会場 さなる東岡崎駅前校  
岡崎市吹矢町2-1 電話0564-66-0555  
刈谷会場 さなる刈谷本部校  
刈谷市南桜町2-58-2 電話0566-24-7555  
瀬戸会場 さなる瀬戸本部校  
瀬戸市瀬戸口町4 電話0561-42-7936  
一宮会場 さなる一宮本部校  
一宮市八幡2-4-3 電話0586-46-5041  
豊田会場 さなる豊田本部校  
豊田市西町5-13 電話0565-35-1101
- (3) 内容 第44回小学生将棋名人戦愛知県大会地区大会  
小学生交流将棋大会 高学年（4年以上） 低学年（3年以下）  
プロ棋士指導対局、プロ棋士によるミニ講演
- (4) 参加費 1,000円（さなる在校生は無料・IDカードを持参）
- (5) 表彰 第三位までに賞状・賞品、第四位に賞品
- (6) 参加棋士 豊橋会場 長沼洋七段 安用寺孝功六段  
岡崎会場 東和男八段 脇謙二八段  
刈谷会場 神崎健二八段 平藤眞吾七段  
瀬戸会場 畠山鎮七段 西川和宏六段  
一宮会場 北浜健介八段 増田裕司六段  
豊田会場 中田章道七段 西田拓也四段
- (7) 主催 日本将棋連盟愛知県支部連合会
- (8) 協賛 株式会社さなる
- (9) 後援 中日新聞社 愛知県・同教育委員会 名古屋市・同教育委員会
- (10) 協力 日本将棋連盟 日本将棋連盟東海普及連合会
- (11) 問合せ 日本将棋連盟愛知県支部連合会 電話052-253-9441

## 12 今後の予定

11月11日（日） 和丘祭縁台将棋大会

12月2日（日） 第98回中部職域団体対抗将棋大会

12月9日（日） さなる杯第44回小学生将棋名人戦愛知県大会地区大会

会報の配信をご希望の方は東海普及連合会事務所までご連絡ください。

東海普及連合会ホームページ ([http://www.geocities.jp/shogi\\_tokai/index.html](http://www.geocities.jp/shogi_tokai/index.html)) からダウンロードしていただくこともできます。

東海普及連合会、愛知県支部連合会へのご意見がございましたら遠慮なくご連絡ください。

東海普及連合会事務所

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイトウン4A

電話 052-253-9441 FAX 052-253-9442 E-mail [shogi\\_tokai@ybb.ne.jp](mailto:shogi_tokai@ybb.ne.jp)